

CERTIFIED & EVALUATE

Quality Control & Certification

シンプルで柔軟な色認証システムとクラウドによる一括管理で
印刷標準化 / 品質管理 / 色保証を効果的に支援。



■ CERTIFIED / EVALUATE 機能比較一覧

評価機能・認証基準一覧	EVALUATE	CERTIFIED
L*a*b* 測定評価機能		●
濃度測定評価機能		●
Digital GRACoL (3種類)		●
FOGRA V2 (14種類)		●
FOGRA V3 (26種類)		●
G7 (GRACoL / Grayscale / Targeted)		●
標準認証		●
IDEAlliance GRACoL Coated1		●
IDEAlliance SWOP (Coated3 / Coated5)		●
3DAPv3		●
ISO15311 Media Relative (6種類)		●
ISO15311 Side by Side (6種類)		●
JapanColor2011Coated		●
任意認証	●	●
基準値登録	●	●
許容値登録 ※1	●	●
ターゲットカラーバー登録 ※2	●	●
特色認証		●
基準値登録		●
許容値登録		●
ターゲットシングルバッチ登録		●
色差公式	●	●
ΔE	●	●
ΔE 94	●	●
ΔE 2000	●	●
ΔE CMC 2 : 1	●	●
認証ラベル機能 ※3		●
評価レポート表示及び印刷機能 ※4	●	●
統計レポート表示及び印刷機能 ※4	●	●
「COLOR TUNER」 連動 ※5	●	●

※1 バッチ毎の個別設定が可能 ※2 ターゲット測定値の平均化が可能 ※3 「COLOR TUNER」連動時のみ対応可 ※4 Windowsプリンタドライバ経由で出力可能 ※5 別途「COLOR TUNER」が必要

■ 推奨システム環境

CPU	Microsoft® Windows® 10 Pro 以降に対応しているCPU
メモリ	500MB 以上のRAM
メインストレージ	100GB 以上の空き領域
通信ポート	USBポートx2 (ラベルプリンタ・分光光度計接続用)
光ストレージ	DVDマルチドライブ (ソフトウェアインストール用)
対応OS	Microsoft® Windows® 10 Pro Microsoft® Windows® 11 Pro Microsoft® Windows® Server 2019 / 2022
対応ブラウザ	Microsoft Edge 最新バージョン Google Chrome 最新バージョン Mozilla Firefox 最新バージョン

■ 対応測定器 (CERTIFIED)

x-Rite 社	i1Pro2/3, i1iO2/3, i1iSiS/iSiS2 Ci6xシリーズ, eXact, eXact2 etc.
TECHKON 社	RS800, SpectroDens, SpectroDrive, SpectroJet
Konicaminolta 社	FD-5/5BT/7, MYIRO-1/9, ColorScout A+
EPSON 社	SC-Pシリーズ 内蔵分光光度計 (ILS30EP)

■ 対応ラベルプリンタ (CERTIFIED)

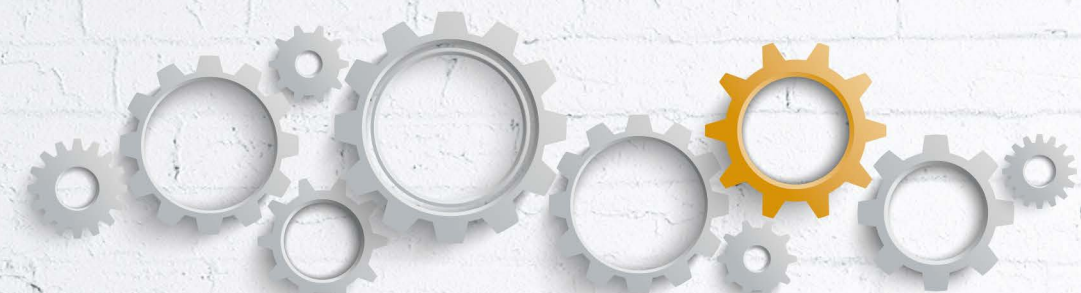
DYMO 社	Labelwriterシリーズ ※6
--------	--------------------

※6 対応ラベルサイズは89mm x 36mm に限定

■ CERTIFIEDラベルに出力されるデータ (例)

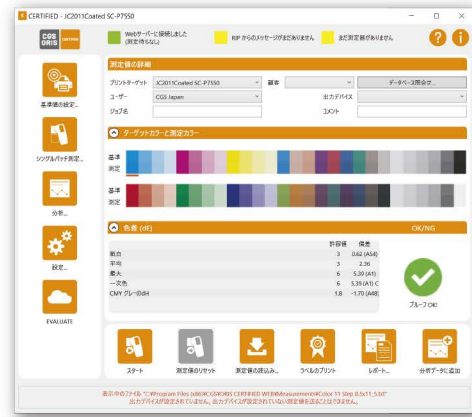
	CERTIFIED	ID 105	dE	✓
基準値:	JapanColor2011Coated	紙白 dE 許容値	3.00	0.76 (A54)
ブルーフ:		平均 dE	3.00	0.87
ユーザー名:自動		最大 dE	6.00	3.41 (A9)
ジョブ名:	Japan Color control strip V1.0.tif	一次色 dE	5.00	3.41 (A9) Y
プリンター:	EPSON SC-P7550	グレーの平均	1.50	0.23
基準:	JC2011 Coated.txt			
	2024/12/10 13:34:03 サイン			X-Rite ILS30EP v16127 (M0)

基準値	テンプレート名 (事前に比較用ターゲットテンプレートを作成)
ブルーフ	ブルーフ管理者名
ユーザー名	比較測定者名
ジョブ名	ブルーフジョブ名
プリンター	出力プリンタ名
基準	比較基準値ファイル名
紙白ΔE	紙白色差 (事前に色差許容値設定可能)
平均ΔE	平均色差 (事前に色差許容値設定可能)
最大ΔE	最大色差 (事前に色差許容値設定可能)
一次色ΔE	CMYK のベタ色の最大色差
グレーの平均	CMY グレーの平均色相差
サイン	ブルーフ責任者サイン欄
日付 / 時刻	
評価結果	評価結果全てが許容範囲内の場合 ✓ 許容範囲外の場合 ❶ を印字



CERTIFIED & EVALUATE

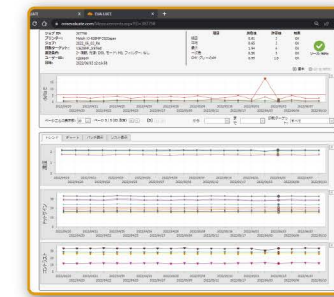
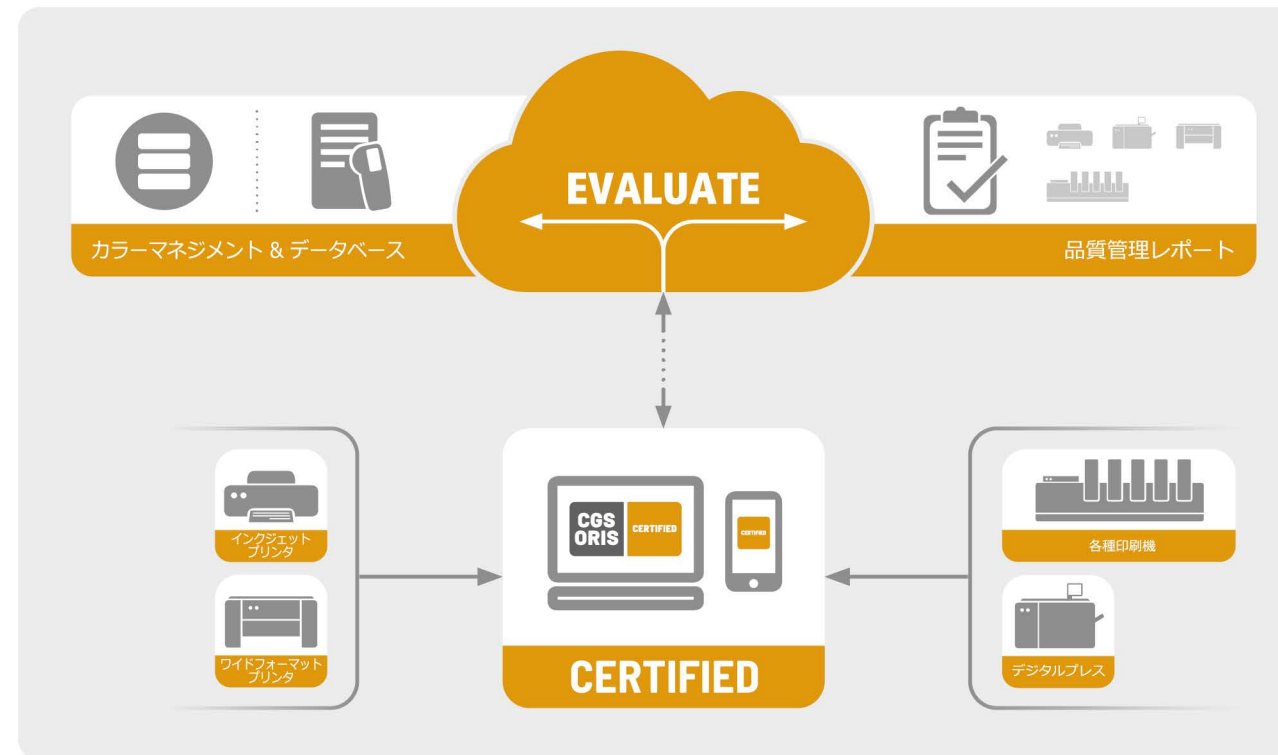
※ カタログに記載された内容は、技術改善等により予告なく変更する場合がございますがご了承ください。
※ 会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。
※ Microsoft®, Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
※ Windows® の正式名称は Microsoft Windows Operation System です。
※ Apple, Mac OS X は、Apple Computer Inc. の登録商標または商標です。
※ 本製品に関するお問い合わせ及びサポート、カタログ記載については、国内限定とさせていただきます。



DYMO ラベルプリンタオプション



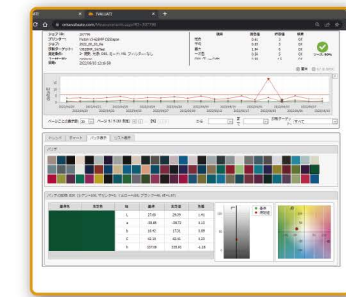
プリンタ内蔵分光光度計オプション



トレンド分析



チャート分析



パッチ別分析

正確にCertifid (サーティファイド / 認証) されたプルーフ環境からワークフローを最適化!

- トラブルのない、スムーズな印刷ワークフローを実現
- 印刷の標準化でコスト削減と収益力向上を実現
- クライアントの信頼性向上と新たなビジネスチャンスを創出

「CERTIFIED」は、プルーフ / 印刷の品質を検証する「品質管理ツール」です。

- 「CERTIFIED」は、プルーフに追加された専用チャート (カラーウェッジ) の測定値と基準品質の差を比較・検証し、結果をレポート表示します。
- 品質評価ターゲットには、JapanColor2011・G7・FOGRA・SWOP・JMPA など国内外の規格基準値とカラーウェッジがプリセットされています。さらにカラーウェッジの実測値を自社オリジナルのターゲットとして登録が可能です。どちらもテンプレートとして使用できるので、出力機・ジョブ・クライアント・基準値などをカスタマイズしながら運用することができます。
- 基本のカラーウェッジは数十パッチ程度のため、短時間で読み込み・検証を実施できます。プリンタ内蔵分光光度計を使用する場合にはカラーウェッジ+プルーフの印字~測定を自動化できるため、さらに効率化が図れます。
- レポートでは、カラーウェッジ内の各パッチの基準値と測定値を比較した $\Delta E \cdot \Delta L \cdot \Delta a \cdot \Delta b$ の値が表示され、より詳細な検証が可能です。また、測定データは自動的に蓄積されるため、「分析」機能を用いて長期的な色差の推移なども確認できます。デバイスの傾向を簡単に把握できるので、許容値を外れる前にメンテナンスを計画する等、未然にトラブルを防ぐ運用も可能です。

クラウド化された分析システムと見やすいGUIで色認証・印刷品質管理環境をBI (ビジネスインテリジェンス) ツール化!

- 複数拠点で生産される印刷物の色差・品質を一元管理してカラーコントロールを実現
- プルーフ・印刷の測定評価情報を世界中のどこからでもチェック
- ORISシリーズとの連携で測定結果をスムーズにアップロードし素早く情報更新可能

「EVALUATE」は、CERTIFIEDと連動する「色・品質管理用クラウドサーバ」です。

- 「CERTIFIED」で作成された色認証情報はすぐに「EVALUATE」サーバーへアップロードされ、データベース化されます。関連事業所や取引先のプルーフ・印刷のコンディションを素早く把握することで、複数拠点で製造される同一内容の印刷物のカラーコントロールや、デバイスメンテナンスの実行計画を素早く行う事が出来ます。
- 色認証情報は閲覧者の目的に合わせて4パターンの統計として閲覧可能。評価に必要な情報を、デバイス別・ジョブ別・事業所別などで分類した時系列レポートの作成も可能。詳細なレポートと傾向 (トレンド) 分析により使用中のシステムのパフォーマンスをわかりやすく表示し、また特定期間内での品質の偏りを確認することもできます。
- 分析結果はウェブブラウザを介して世界中のどこからでもログインしチェックできます。「EVALUATE」なら、複数の地域で共通のジョブコンディションを同時にチェックできるダッシュボード環境を実現できます。
- 「EVALUATE」のクラウドサーバは、「CERTIFIED」のアカウントに紐づけられたログイン管理機能を持ち、常にセキュアな環境で運用が行えます。